

議会ポスト 意見等への回答

作成日：令和2年4月17日

作成者：上越市議会議長

寄せられた意見等

「COVID-19」感染が4月7日に上越市にも判明してしまい、対応が急がれています。

市長からのメッセージがエリアメールで、4月7日17時43分に手緩い守り一辺倒の従来通りの咳エチケットや手洗いの励行、不急不要の外出自粛などが届きましたが、これは、もし市内に発生したら、何をどうすべきかという事前検討が全くの不十分であった証左と言わざるを得ません（事前検討する時間は、東京、世界の状況が毎日報道されている事から十分あったはずです）。その後の国の緊急事態宣言を受けて4月8日14時37分に、先日の内容に加えて対象の7都府県へ往来自粛依頼と同時に対象地域から当市へ転入、帰省された方への外出自粛と2週間程度の健康観察の徹底を依頼している旨の送信がありました。次に市は9日に、商工団体や金融機関から市内企業の経常状況などを聞く情報共有会議を開き、そこでの意見聴取等を受けて、来週中をめどに独自の経済対策を打ち出す予定と報じられています。（4月10日上越よみうり、より）

これら一連の市の対応について、議会として質す機会を早々に設けて市民の安心安全の確保に力を発揮して頂きたい。行政側の施策の内容を質す機会がないままの市政は、如何なものでしょうか？（既にその準備中で、近々開催予定でありましたらご容赦下さい。）

その際、弱い立場になる人達への対策、医療現場や経済対策などは、従来以上にスピード感をもって、専門家や実務家の意見や現状を充分踏まえて、実のあるものにして頂きたい。

他、議会、議員として質すべき事項を深掘りして、市の施策に対してチェック及び必要な補充をお願いしたい。

加えて、ウイルスを当地に侵入させない施策をぜひお願いしたい。

- ・ 市長メッセージの受け身的な施策だけでなく、産業界に対して対象7都府県への出張及び来客受け入れの自粛、テレワークやテレビ会議の励行を要請するよう求めて頂きたい。止むを得ず対象地域との往来があった場合は、2週間程度の健康観察の徹底を強く要請すべきと考えます。
- ・ 新幹線上越妙高駅や高速道路のインター等に市の考え方、「7都府県からの来越者は、2週間程度の健康観察の徹底を依頼しています」というチラシの配布や看板を立てて周知して欲しい。もし可能であれば、サーモグラフィーの設置も検討願います。

- ・ いずれにしても、市民生活、医療、産業、教育現場等々に多大な混乱と損失を生じさせないために、何としてもこれ以上の感染者を出さない、という強いメッセージと施策をお願いしたい。

以上

回 答

この度はご意見をいただきありがとうございます。

市では、経営の安定に支障をきたしている事業者に対して国が行う各種支援事業を補完する支援や、手洗いや消毒など感染を防ぐための情報発信、健康相談コールセンターの開設など、新型コロナウイルスの感染による健康被害の拡大防止や地域経済の安定を図るための様々な取組を進めております。

こうした市の対応や経済支援などの施策は、市民及び市内経済に与える影響が大きいことから、議会においても、ご指摘いただいた、弱い立場になる人達への対策や医療現場対策、経済対策などへの市の対応の観点もあわせて、本会議や常任委員会等で慎重に審議を行い、市政運営の監視及び評価を行うという議会の活動原則に基づき、行政に対するチェック機能を果たしてまいりたいと考えております。

また、新型コロナウイルスを当地に侵入させないための施策に対するご意見については、議会として行政側にお伝え致します。

今後も、ご意見、ご要望などをお聞かせいただきたいと思います。